

学校だより 5月 第343号

横浜市立六つ川西小学校 (TEL) 742-6301 (FAX) 743-2394

URL <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/mutsukawanishi/index.html>

「様々な人とのふれあい」～きらきら活動を通して～

学校長 小倉 睦

「夏も近づくと八十八夜 野にも山にも若葉が茂る…」この曲と共に、長く楽しませてくれた今年の桜も、新緑へと姿を変えてきています。今年も心地よい5月の風が、木の薫りをのせて教室を訪れる季節になりました。また「ホーホケー、ホーホケー。」という特徴的な声を発するウグイスや張り切ったシジュウカラの声が校庭にこだまする六つ西の初夏を迎えました。

新年度が始まって早1ヶ月、1年生の給食準備の様子を覗いて見ると、エプロンに三角巾姿の6年生が小さい後輩たちの手伝いをしていました。6年生は、手伝いの仕方も心得ていて、自分たちがすべてやってあげるのではなく、スープをこぼしそうになった時やスプーンを落としてしまった時など、いざという時さっと手を差し延べる様子が見られました。1年生が自分たちで配膳ができるようになるまで、もうしばらく、6年生の見守りが続きます。

六つ川西小では、このような異学年のふれあいを大切にしている「きらきら活動」と呼んでいます。今年も

1年生と6年生だけでなく、2年生と5年生、3年生と4年生のペア学年の活動や1年生から6年生までが1つのグループになり、地域清掃、全校遠足などの様々な行事にも取り組みます。

当然のことですが子どもの発達も、本来一人一人違います。どんなに個性的で少数派に生まれた子どもであっても、豊かで素敵な個性の持ち主です。しかし、人は自分の価値観があり、自分の視点から他者を判断するものです。だから、自分とは違う見え方、感じ方、聞こえ方の少数派の他者を理解することに抵抗があるのかもしれません。でも、異学年の友達を異なる心を持つ人間として丸ごと受け入れることは、大人にとっては困難なことかもしれませんが、柔軟な心を

持っている児童にとってはできることかもしれないと思っています。

子どもたちはもちろん、保護者も先生もみんなが生き生き過ごせる六つ川西小にするためには、多数派と少数派の子どもたちとの折り合いのつけ方を互いが少しずつ学びあっていくことが大切になります。

本校の「きらきら活動」においても、学年・クラスの枠を超えて全く異なる個性をもつ子どもたちが一同に集まり、話し合いをしたり、集団レクレーションをしたりします。高学年が低学年を見ると自分とは全く違うことに気がきます。また、低学年から見ても高学年は、自分とは大きく異なる存在に思えるはずです。「きらきら活動」では同学年のクラス内の友達とは違う人たちを意識して、上手にかかわり折り合いをつけられるようになることが期待できます。

ところで、4月21日(日)六つ川地区の第40回「歩こう大会」に今年も参加させていただきました。今年も、六つ川西小のチェックポイントも加わり、校門から体育館のチェックポイントを経て歩道橋に抜けるルートができました。40回を数えるこの「歩こう会」は地域の方々、六つ川中学校生徒のボランティアに支えられ、強い日差しの中、心地よいひとときになりました。今年もこの地域のイベントを通して、あらためて六つ川地域のすばらしさを再確認できました。今月から平成から令和に時代変わりますが、今年も様々な人とのかかわりを通して、「共に育つ」六つ川西小を目指して活動していきます。

保護者の皆様、地域の皆様、新しい時代になっても六つ川西小学校へのご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。